

## 除草剤の付着がりんご幼木の主幹に与える影響

りんご幼木の主幹に除草剤（グルホシネート及びピアラホス）が付着した場合、樹皮に焼け症、割れ症、黒変症等の障害が見られることがある。これらは、生育に悪影響を及ぼす可能性もあるため、特に幼木時は樹体に付着しないよう注意が必要である。

表1 除草剤による樹皮障害の状況

供試薬剤 (薬量/水量/a)	供試品種	台木	障害の有無	程度		幹周(cm)	新梢長(cm)
				'97.12	'98.8		
グルホシネート剤 (10ml/50l/a)	つがる	M.9	有	++	+++	4.9	40.0
	ふじ	M.9	有	+	+	10.9	56.9
	王林	JM7	無			12.1	45.8
	ジョコールド	M.26	無			8.0	93.0
	ジョコールド	JM7	有	+	+	11.7	45.5
ピアラホス剤 (10ml/75l/a)	ふじ	M.26	無			9.5	49.8
	王林	M.9	有	++	++	10.0	41.5
	王林	JM7	有	++	++	11.5	65.1
	ジョコールド	JM7	有	+	+	10.4	45.1
	きおう	M.9	有	+++	+++	10.7	92.8
グリホサート イソプロピルアミン 塩剤 (10ml/50l/a)	ふじ	M.26	無			12.5	68.4
	王林	M.9	無			12.9	41.0
	王林	JM7	無			13.5	77.0
	ジョコールド	JM7	無			12.0	107.0
	きおう	M.9	無			11.0	84.4
ジクワット・ パラコート剤 (10ml/100l/a アルブ加用)	つがる	M.9	無			7.4	80.6
	ふじ	M.9	無			7.6	38.7
	王林	JM7	無			12.8	100.5
	ジョコールド	M.26	無			12.6	49.3
	ジョコールド	JM7	無			12.7	58.5
無処理	つがる	M.9	無			7.3	86.7
	ふじ	M.26	無			11.3	64.4
	ふじ	M.9	無			9.4	45.5
	王林	M.9	無			13.3	59.9
	王林	JM7	無			12.3	93.2
	ジョコールド	M.26	無			11.5	65.5
	ジョコールド	JM7	無			11.8	65.4
	きおう	M.9	無			12.9	76.5

注) 供試条件 96年秋定植、97~98年 年間3回(5,6,8月)主幹に処理  
障害の程度 +:小、++:中、+++:大

幼木の主幹に除草剤が付着した場合、除草剤（グルホシネート及びピアラホス）付着部位の樹皮焼け症、割れ症、黒変症等の障害が見られた。

供試した5品種のうち、「つがる」では生育が劣る傾向がみられ、他の品種においても一時的に若干生育不良となる場合があった。



グルホシネート(つがる) ピアラホス(きおう)  
写真1 障害の症状